

宮城県商店街空き店舗実態調査結果について

平成19年9月18日

1 調査の概要

- (1)調査期日 平成19年6月1日現在
- (2)調査内容 営業店舗数， 空き店舗数， テナント待ち空き店舗数， 空き店舗原因の4項目です。
- (3)調査対象 県内の商店街振興組合連合会， 商工会議所及び商工会に加盟してる商店会等であって， 商店会等の区域全体の店舗（原則として組合員等の店に限定せず。）を対象にしています。ただし， 商店会等がない町村については， 商工会が把握しているものも含んでいます。また， 休眠状態の商店会及び大規模小売店舗内のテナントは除いています。
- (4)調査方法 商工会連合会（商工会）， 商工会議所， 商店街振興組合連合会を通じて各商店会等にご協力頂いたアンケート調査です。

2 この調査では， 営業店舗， 空き店舗， テナント待ち空き店舗は次のように定義しています。

(1)「営業店舗」

調査に協力して頂いた各商店街等の区域（エリア）内の， 現に営業している小売業， 飲食業， サービス業等の店舗（消費者が商品やサービス等の購入ができる場所）。個店のほか共同店舗等のテナントも含みますが， 事務所は除いています（例：百貨店， 総合スーパー， 大型ディスカウント店等の大規模小売店舗， 衣料， 食品， 日用品， 薬店， コンビニ等の小売店舗， 飲食店， 病院， 金融機関， 理美容， クリーニング， レンタルショップ， 遊技場， 塾等のサービス店等）。ただし， 大規模小売店舗は全体で1とカウントしています。

(2)「空き店舗」

従前店舗として利用された建物（個店・テナント）で， 廃業， 移転等により現在は空きスペースとなっているもの。また， 利用者が現れるまでの間， 暫定的に車庫， 物置等として使用しているものも含めています。ただし， 駐車場や空き地になった場合は除いています。

(3)「テナント待ち空き店舗」

「空き店舗」のうち， テナント待ちの店舗として活用できるものとしています。

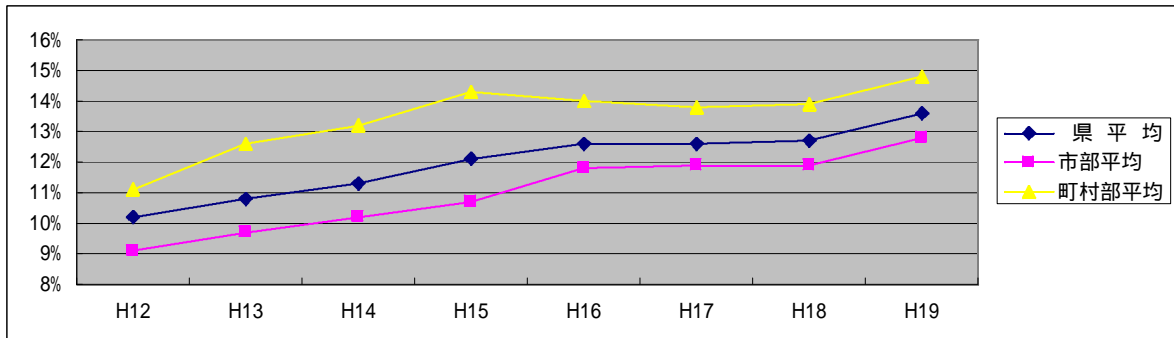
留意事項

- 1 この調査は， あくまで県内商店街の空き店舗状況の傾向としてご理解ください。
- 2 H17年度以降に合併した石巻市， 登米市， 栗原市， 東松島市， 大崎市， 気仙沼市については， 前年度以前と比較できるよう旧市町村の枠で区分しております。

3 調査結果の概要

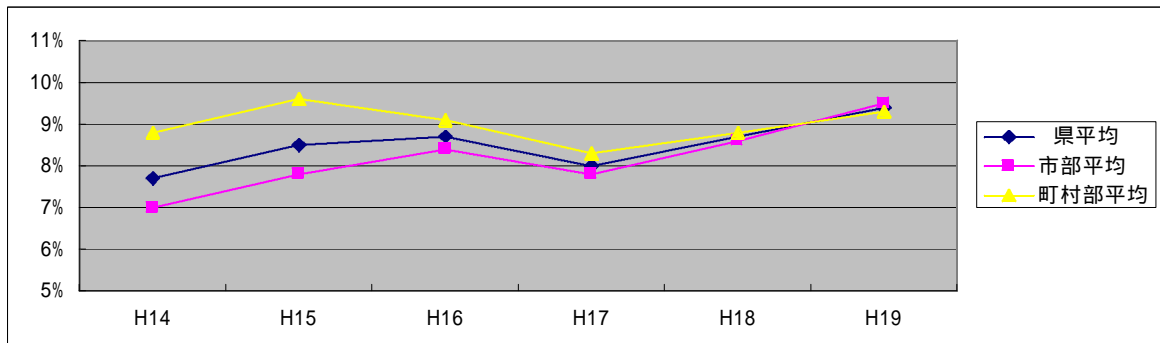
- (1) 調査商店会数等 回答商店会等数 304 [旧市部150, 旧町村部154]
 (内商工会回答数 80 [旧市部 8, 旧町村部 72])
- (2) エリア内営業店舗数 15,054店 (市部9,045店, 町村部6,009店)
- (3) エリア内空き店舗数 2,365店 (市部1,324店, 町村部1,041店)
- (4) エリア内空き店舗率

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
県平均	10.2%	10.8%	11.3%	12.1%	12.6%	12.6%	12.7%	13.6%
市部平均	9.1%	9.7%	10.2%	10.7%	11.8%	11.9%	11.9%	12.8%
町村部平均	11.1%	12.6%	13.2%	14.3%	14.0%	13.8%	13.9%	14.8%



(5) 上記空き店舗のうち、テナント待ちにある空き店舗数及び率

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H19店舗数
県平均	7.7%	8.5%	8.7%	8.0%	8.7%	9.4%	1,646店
市部平均	7.0%	7.8%	8.4%	7.8%	8.6%	9.5%	990店
町村部平均	8.8%	9.6%	9.1%	8.3%	8.8%	9.3%	656店



(6) エリア内空き店舗発生原因

